

9. 自然災害軽減科学プログラム（8単位）

プログラムの目的

日本では地震、津波、火山、洪水など、さまざまな自然災害が発生している。山陰地域をとってみても、地すべりや洪水などの災害が多く発生している。こうした状況を踏まえると、災害や災害を軽減するための知識とその活用は重要である。本プログラムでは、自然災害についての基礎的知識を修得し、その知識を活用できる人材の育成を目指す。

履修資格

平成25年度以降に入学した者

履修手続

本プログラムを履修する者（以下「履修者」という。）は、次の各号に掲げる書類により、履修手続をしなければならない。

- 一 本プログラム履修申請書（別紙様式）
- 二 その他本学が必要と認める書類

構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表（令和4年度以降入学生用）

科目区分			分類	授業科目名	単位数	必修	選択		
目全 学共 教養 通教 育成 育科 目科	発展科目	自然科学分野	コア科目	山陰地域の自然災害	2	2	6		
	入門科目	自然科学分野	選択科目	地球と人間生活	2				
				地域開発と水環境	2				
	発展科目	学際分野		フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	2				
全学開放科目				自然地理学概論	2				
				自然地理学特論	2				
				地理情報システム	2				
				自然災害科学概論	1				
				自然災害学	2				
合 計								8	

※令和元年度以前に入学した者で、「プレートテクトニクス」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和2年度以前に入学した者で、「山と日本人」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

履修表（平成30年度以降入学生用）

科目区分			分類	授業科目名	単位数	必修	選択		
養育全 育科学 成目共 科通 目教教	発展科目	自然科学分野	コア科目	山陰地域の自然災害	2	2	6		
	入門科目	自然科学分野	選択科目	地球と人間生活	2				
				地域開発と水環境	2				
	発展科目	学際分野		フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	2				
全学開放科目				自然地理学概論	2				
				自然地理学特論	2				
				地理情報システム	2				
				自然災害科学概論	2				
				自然災害学	2				
合 計								8	

※令和元年度以前に入学した者で、「プレートテクトニクス」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和2年度以前に入学した者で、「山と日本人」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

履修表（平成25年度から平成29年度までの入学生用）

科目区分		分類	授業科目名	単位数	必修	選択	
養育全 育科学共 成目共 科／通 目教	発展科目	自然科学分野	コア科目	山陰地域の自然災害	2	2	6
	入門科目	自然科学分野	選択科目	地球と人間生活	2		
				地域開発と水環境	2		
	発展科目	学際分野		フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	2		
	全学開放科目			自然地理学概論	2		
				自然地理学特論	2		
				地理情報システム	2		
				自然災害工学概論	2		
				自然災害学	2		
合 計					8		

※平成26年度以前に入学した者で、自然科学分野で開講した「山と日本人」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和元年度以前に入学した者で、「プレートテクトニクス」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和2年度以前に入学した者で、人文社会科学分野で開講した「山と日本人」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
- 二 上記履修表により履修し、コア科目（必修）2単位、選択科目（選択）6単位以上の合計8単位以上を修得すること。

履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 3年次以上の学生であること。
- 二 本プログラムのコア科目を2単位修得済み、または履修中であること。
- 三 本プログラムの選択科目を2単位修得済み、または履修中であること。